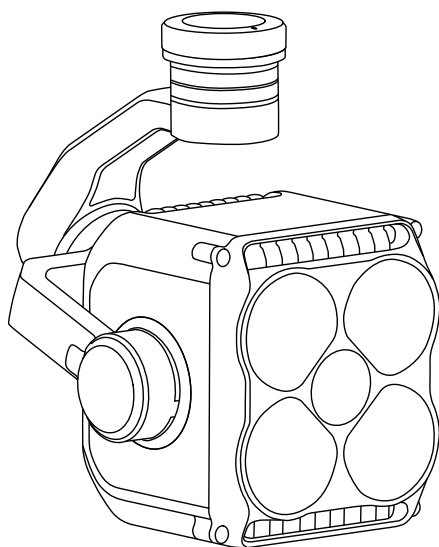


dji ZENMUSE S1

ユーザーマニュアル

v1.0 2025.04





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探することができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

👉 任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

🖨️ 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

△重要

※ヒントとコツ

📖参考

チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか QR コードをスキャンすると、チュートリアルビデオを視聴でき、製品の安全な使用方法を知ることができます：



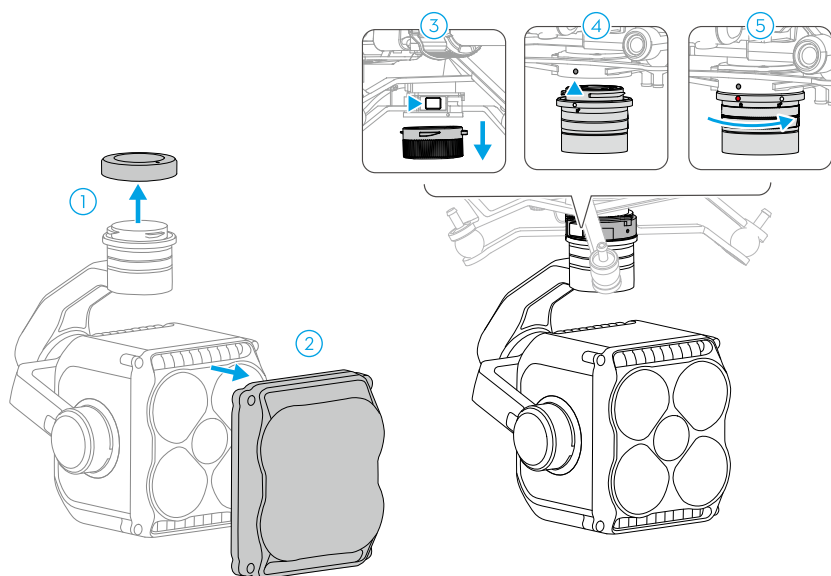
<https://enterprise.dji.com/zenmuse-s1/video>

目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
チュートリアルビデオ	3
1 使用方法	5
1.1 取り付け	5
1.2 アクティベーション	5
1.3 操作	6
1.4 ログのエクスポート	7
2 付録	8
2.1 ファームウェアの更新	8
2.2 仕様	8

1 使用方法

1.1 取り付け



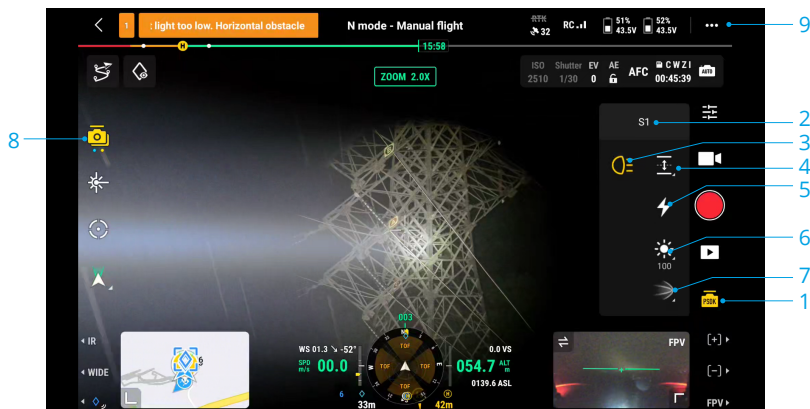
- 💡 • 機体に2つのペイロードを同時に搭載する場合、電源を入れる前にペイロードを手動で調整し、自動チェック中の衝突を避けるようにすることをお勧めします。
- ⚠️ • 輸送時または収納時はペイロードを機体から取り外してください。そうしないと、ジンバルダンパーの寿命が短くなったり、破損したりするおそれがあります。
- ペイロードを取り外すには、機体のリリースボタンを押し、ペイロードを回転させます。

1.2 アクティベーション

ペイロードは、初めて使用する前に、DJI PILOT™ 2 App からアクティベーションを行うことが必要です。ペイロードを機体に取り付け、機体と送信機の電源を入れ、画面の指示に従ってアクティベーションを行います。アクティベーションにはインターネット接続が必要です。

1.3 操作

機体の電源を入れた後、DJI Pilot 2 App を起動すると、ホームページにペイロード名が表示されます。**カメラビューに入る**をタップします。以下は使用例です。



1. PSDK 制御ボタン

タップすると、制御メニューに入ります。

2. 制御切り替えボタン

スポットライトとスピーカーの両方が搭載されている場合、タップすると、制御を切り替えることができます。

3. スポットライト切り替え

4. バーチャルスティック/ジンバル微調整

タップすると、ペイロード角度調整インターフェースに入ります。複数ジンバル制御が有効になっている場合、機能はジンバル微調整に切り替わります。

5. ストロボモード切り替え

6. 明るさ

7. 照明モード

ロービーム、ハイビーム、および両方オンのモードを選択できます。

8. 複数ジンバル制御

タップすると、複数ジンバル制御が有効になります。機体に 3 つのペイロードが搭載されている場合、どのような制御の組み合わせにも対応します。複数ジンバル制御後、送信機の左右のダイヤルを使用して複数のペイロード角度を制御し、ジンバル微調整ボタンでビームセンターを調整できます。複数ジンバル制御が無効の場合、バーチャルスティックを使用して、ジンバル角度を制御できます。

9. 設定

…> **PSDK** をタップすると、ファームウェアバージョンを確認できます。

-
- 💡 • 高高度飛行中にスポットライトを使用する際は、電子式ヘイズ除去機能（Zenmuse H30 シリーズと併用時のみサポート）を有効にすることをお勧めします。これにより、より良い画質が得られます。
 - 機体の飛行時間に及ぼす影響を最小限に抑えるため、スポットライトの明るさを適切に下げて、必要に応じて使用することをお勧めします。
-
- ⚠️ • スポットライトを人の目に直接向けないようにしてください。
 - 長時間の使用により、スポットライトが熱くなることがあります。やけどをしないように、注意してください。
 - 衝撃によりスポットライトが破損したり、故障したりする恐れがあります。スポットライトジンバルを無理に回転させないでください。また、落下しないように注意して取り扱ってください。
 - スポットライトは RTH 中に自動的にオフになり、ユーザーは手動で再度オンにすることができます。ただし、低バッテリー RTH 中にはオンにすることはできません。
 - 高湿度または低温環境でスポットライトを使用すると、曇りが発生する可能性があります。通常の使用には影響ありません。使用後は、乾燥した通気性の良い場所にしばらく置いて、曇りを自然に消散させてください。
 - 夜間にスポットライトを点灯すると、障害物検知が誤作動したり、障害物検知能力が低下する可能性があります。
-

1.4 ログのエクスポート

使用中に異常が発生した場合は、DJI Pilot 2 App を起動し、**状態管理システム（HMS）> ログ管理**にアクセスして、機体のログをエクスポートし、分析を行ってください。

2 付録

2.1 ファームウェアの更新

新しいファームウェアが利用可能となったときは、機体のファームウェア更新中にペイロードが更新されます。

2.2 仕様

仕様については、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://enterprise.dji.com/zenmuse-s1/specs>

お問い合わせ



連絡先

DJI サポート

内容は予告なく変更する場合があります。

最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://enterprise.dji.com/zenmuse-s1/downloads>

本書についてご質問がある場合は、以下にメッセージを送信して DJI までお問い合わせください。**DocSupport@dji.com**

DJI および ZENMUSE は DJI の商標です。

Copyright © 2025 DJI All Rights Reserved.